



今回のテーマ テスト前の学び方～その2

今回の学びの丘は、「テスト前の学び方 その2」ということで、■■先生と■■■先生に得意教科・苦手教科の学習方法をインタビューしました。テストまであと3日！2人の先生方の学習方法を参考にしながら、ベストを尽くせるよう努力をしていきましょう。

まずは、森山先生からです。

●得意教科について（当時の得意教科：国語）

昔からの国語好きで、今に至っています。ですが、国語については、特別にテスト勉強をした覚えはありません。テスト期間は、完全に他の教科にあてていました。なぜなら国語については、毎日予習・復習を欠かさず、さらに数時間の読書をしていたからです。（エヘン！）予習では、教科書に出てきた言葉で分からないものがあったら意味を調べ、出てくる漢字は全て読めて書けるようにしておく。復習はとにかくたくさん問題集の問題を解きました。テストが近づくと、その積み重ねていたものを完璧にテストで発揮できるように軽く確認するくらいで済ませていましたよ。やっぱり、毎日の積み重ねです！



●苦手教科について（当時の苦手教科：数学）

「いや、もう自分文系なんで…」と言いながら目を背けてきた教科です。計算問題は平気なのに、文章問題や図形問題、証明問題なんて撃沈ですよ！そんな私の数学との向き合い方はとにかく「気合と根性」でした。負けず嫌いで、見栄っ張りだったので「できない」ことが悔しかったんですね。あと、勝手にライバル視していた人に負けたくなかったということもあります。そこで、とにかく問題を解きました。そして問題のパターンを覚えてしまい、同じような問題が出たら何も考えずにそのパターンにあてはめて解く！さらには、学校外のテストをたくさん受けました。月1くらいで模試を受けていたと思います。そこで間違った問題は次に間違わないように心がけていました。

いつも優美な森山先生から「気合と根性」という言葉が聞けるとは…意外でした。でも苦手だからといって目を背けるのではなく、真摯（しんし）に向き合っていく姿勢はとても大切です。

続いては、■■■先生です。

●得意教科について（当時の得意教科：数学）

当時から数学が大好きだったので、10分休みや昼休みなど、時間をみつけてはワークを解いていました。難しい問題でも絶対に答えを見ないで、ずっと考えていました（長いときで1時間くらい）。今考えると、それが数学に必要な「考える力」をつけることにつながったのかもしれない。



●苦手教科について（当時の苦手教科：数学以外（特に社会））

数学以外は基本的に苦手でしたので、何でもかんでも「覚える」ということに全精力を使っていました。国語なら、テスト範囲の全部の漢字を書けるまで繰り返し書きましたし、英語なら、教科書の本文（英文&日本語訳）を見なくても言えるくらいまで覚えました。必ず漢字が20点分出る先生でしたので、そこで確実に20点をゲットしましたし、訳したり英文に直すことが苦手だった僕でも、何が書かれているかを覚えていたので、本文のどこを聞かれても訳せましたし、英文に直せました。

その中でも特に苦手だった社会は、自分でノートの色ペンや教科書の太字をまとめたノートを作りました。当然、ひたすら暗記です。大事なところを赤ペンで書いておくと、赤い下敷きを重ねたときに消えるので、その方法は重宝しました。

今考えると、すごく時間のかかった勉強方法でしたが、中学校のテスト勉強を通して、「自分の勉強方法」を見つけたのだと思っています。

「自分の勉強方法」、あなたは発見しましたか？いろいろな方法を試してみて、初めて発見できるものです。今からでも遅くはありませんよ！

